

石川県スポーツトレーナー連絡協議会

令和6年度 第4回理事会 議事録

日 時：令和6年9月13日（火） 20時30分～21時50分

会 場：オンライン会議

出席者：北岡克彦、北山吉明常、常盤和成、田中良和、吉本真樹、定池 寿、俵 大輔、

守山成則、樋口武史、石川真依子

(WEB) 村松僚太、木村慎之介、森崎貴志

－13名－（会長、相談役、理事11名）

【議 題】

報告事項 1；令和6年度 第3回理事会議事録について

田中理事（総務部長）より、令和6年度第3回理事会議事録がメールにて送付済みと報告。

報告事項 2；会計報告

定池理事（会計）より、令和6年7月19日～9月13日分の会計報告が資料に沿ってあり承認。

報告事項 2；第78回国民スポーツ大会石川県選手団激励会について

常盤理事長より県スポーツ協会から連絡があり中止となったと報告。

報告事項 4；役員交流会について

田中理事より報告。8月3日（土）19時～21時、長八金沢駅前店で開催。11名が参加。

協議事項 1；金沢マラソン2024トレーナー活動について

守山理事（トレーナー部長）より説明。今回の提案の流れや詳細はメールにて送付。

北山相談役より説明。今回で第10回開催となるが第2回より救護所へのトレーナー配置の意味を説明。これまで本会相談役として会議へ参加が今年度からは県スポーツドクター協会会長で案内がくる（金沢市医師会からの参加者減少のため県へ依頼のため）。現在、行政側にトレーナーについて詳細に言える担当者がいない。第1回医療ワーキンググループ会議時にトレーナー装備について話をしたが責任者（新任）からは救護所は命を優先するところでトレーナーに資金を出すことは難しいと返答。また、責任者から救護所でのマッサージ等について走行中の選手助力にあたるのではないかと日本陸連に問い合わせ中との話があり、それを否定するも話は平行線（北山相談役は石川陸協の医事委員長）。現場で動く医師、看護師は分っているが運営側に伝わっていない。また各書類や説明書などの書類についてトレーナーが医療関係として記載されていない（以前は記載すらなかった）。守山理事と相談し役員の意見を聞いて今後の方針や交渉について決めていきたいと考え提案。

北山相談役より救護所活動の不足人数やケアブース活動者状況について質問があり、守山

理事より救護所増員は厳しく、ケアブースは会員外にも募集をかけ増員中と回答。

意見として、トレーナー配置では過去の実績や報告をもとに主催者側には協議してほしい、スポーツ救護現場では医師・看護師・トレーナーが一緒に活動することは常識、こちら側の救護所活動参加会員の増員も今後の課題、双方でトレーナー活動も含めた大会運営全体の不備な点を話あい今後の金沢マラソン運営についてより良いものに進めていく、各マラソン大会でのトレーナー報告など運営側に提出する方法もある、があった。

今後もトレーナーとして活動できることを継続して行ない、運営側（主催者）にもトレーナーについて理解してもらえるように働きかけて交渉していく方針。

10月5・6日は運営側の救護所スタッフ事前説明会、10月2日は本会会員外事前研修会（講師は佐藤会員・守山理事）、10月9日は本会会員事前研修会（講師は守山理事）。事前研修会は認定継続研修会。会費は基本振り込み。

会員へは再度活動募集を実施する。早めに事前研修会、救護所・トレーナーブース配置の案内を送付する。

協議事項 2；北陸学生アメリカンフットボール連盟トレーナー募集について

守山理事より説明。10月26日、11月9日が決定していない。11月3日は予備日。会員から応募がない場合は理事でお願いしたい。

協議事項 3；その他

田中理事より説明。県スポーツ協会より令和6年度維持会員募集の案内が送付。今回は本会会計の関係上、拠出しない方向でよいか。承認。

村松理事より説明。認定更新手続きの催促を出していく状況。活動報告単位については報告様式を送付予定。学術単位についてはどのような形かと質問。

田中理事より説明。これまで構成団体等のスポーツ医療に関する研修会を事前に理事会にかけ、それを協議しその研修会本会認定研修会がどうか協議していた。

村松理事より説明。かなり単位不足があるため、事後承認も必要な状況。学術単位も報告書の様式を作成し、それを理事会で協議する形でよいか。承認。

今後、報告様式や条件について認定講習会の規則等で記載しておく方向。

協議事項は全て終了。令和6年度第5回理事会を令和6年10月15日（火）と決定。令和6年度第4回理事会は終了。

（議事録作成：田中良和（総務部））